

診療情報を利用した臨床研究について

虎の門病院消化器内科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた記録をまとめるものです。この案内をお読みにになり、ご自身がこの研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究に「自分の診療情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の相談窓口までご連絡ください。

【対象となる方】

調査対象となる期間： 2017 年 4 月 1 日～2025 年 6 月 30 日の間に、当院でラズベリー様腺窩上皮型腫瘍（foveolar-type gastric adenoma with raspberry-like appearance）に対して内視鏡的切除を受けられた患者さん

【研究課題名】

ラズベリー様腺窩上皮型腫瘍に対する内視鏡的切除の有効性と安全性の検討

【研究の目的・背景】

ピロリ菌未感染胃に発生するラズベリー様腺窩上皮型胃腫瘍（FGA-RA）は近年発見頻度が増加しており、内視鏡的切除が行われています。本研究では、従来の通電切除と比較し、冷切除の有効性と安全性（RO 切除率、処置時間、有害事象など）を後ろ向きに検討します。この結果により、より低侵襲で安全な治療選択肢が明確になり、将来の治療方針やガイドライン策定、公衆衛生の向上に資することを目的としています。

【研究期間】

2025 年 7 月 23 日 ～ 2029 年 3 月 31 日

【個人情報の取り扱い】

お名前、ご住所などの特定の個人を識別する情報につきましては特定の個人を識別することができないように個人と関わりのない番号等におきかえて研究します。学会や学術雑誌等で公表する際にも、個人が特定できないような形で発表します。

また、本研究に関わる記録・資料は虎の門病院において研究終了後 5 年間保管いたします。保管期間終了後、本研究に関わる記録・資料は個人が特定できない形で廃棄します。

【利用する診療情報】

診療情報：

- ① 診療録：年齢、性別、身長、体重、症状、アレルギーの有無、既往疾患、内服薬、嗜好歴。

- ② 採血所見：Na, K, Ca, Mg などの電解質、Cr, BUN などの腎機能評価項目、血算。
尿中 Cr, BUN, Na, K, Ca, Mg などの尿検査所見。
- ③ レントゲン、CT 検査
- ④ 12 誘導心電図
- ⑤ 内視鏡画像
- ⑥ 病理情報：組織型、切除断端評価、R0/R1、有害事象、再発有無
- ⑦ その他：通院状況、再発時の治療介入など

【研究代表者】

該当なし

【虎の門病院における研究責任者・研究機関の長】

研究責任者：消化器内科 部長 布袋屋 修

研究機関の長：院長 門脇 孝

【研究の方法等に関する資料の閲覧について】

本研究の対象者のうち希望される方は、個人情報及び知的財産権の保護等に支障がない範囲内に限られますが、研究の方法の詳細に関する資料を閲覧することができます。

【ご質問がある場合及び診療情報の使用を希望しない場合】

本研究に関する質問、お問い合わせがある場合、またはご自身の診療情報につき、開示または訂正のご希望がある場合には、下記相談窓口までご連絡ください。

また、ご自身の診療情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、2025年10月31日までの間に下記の相談窓口までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様に不利益が生じることはありません。

【相談窓口】

虎の門病院 消化器内科・氏名 小田 実

電話 03-3588-1111(代表)